

カナンの風

2018年3月

No. 4



日本キリスト教団
河内長野教会

教会ではこんな集まりがあります。

主日礼拝 日曜日朝 10 時 15 分～11 時半
礼拝説教はHPにのせてあります。

教会学校 日曜日朝 9 時～10 時

祈 禱 会 木曜日朝 10 時～

聖 歌 隊 練習日第 2 日曜日礼拝後

求道者会 第 2、4 日曜日 午後 3 時～

共に読み語る会 第 3 日曜日礼拝後

壮年会・婦人会 第 4 日曜日礼拝後

聖書・讃美歌は用意しています。

3 月～5 月のおもなスケジュール

2 月 14 日(水)～3 月 31 日(土) 受難節(レント)

3 月 25 日(日)～3 月 31 日(土) 受難週

4 月 1 日(日) 復活祭(イースター)

主日礼拝午前 10 時 15 分

5 月 20 日(日) 聖霊降臨日(ペンテコステ)



清教学園中学校開校式 1951 年 4 月

牧師のメッセージ

「私の手や足を見なさい。まさしく私だ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなた方に見える通り、私にはそれがある。

(新約聖書 ルカによる福音書 24 章 39 節)

最初弟子たちは、亡霊を見ているのだと思いました。十字架で死んだ主イエスがよみがえり目の前に現れて来るなんて、夢にも思わなかったからです。でも主イエスのお言葉通り、手や足がある。確かに復活して生きておられる！

弟子たちは、どれほど尋ねられても説明も証明も出来ません。出来るのは「主イエスは復活なされた」と目の当たりにした事実を証言することだけです。ああ怖かったと亡霊に怯えてではありません。本当に復活の主イエスにお目にかかった、その驚きと喜び、死が最終の勝利者ではないという不思議な希望に包まれて伝えました。

「あなたにもこの希望、差しあげたい」

河内長野教会の歴史（その3）

戦争が終わり、空虚な心に癒しを求めて人々は教会に集まり始めました。牧師と教会員が一つになって新しい時代を生き抜こうと伝道活動に邁進しました。福音を信じて洗礼を受ける人が大勢増えました。

来日した宣教師の協力も得て近隣の教会との連携が生まれ河内長野市だけでなく河南（カナン）の地にイエス・キリストの光が輝いてきました。中学生たちは教会に来て遊び学校の予習・復習を青年信徒に見てもらいながら聖書の学びをうけました。清教塾が始まりこれが後に清教学園設立へと繋がって行きました。また、農繁期の育児を教会の婦人たちが託児所を造り預かりました。これが聖愛保育園へと発展していきました。

こうして河内長野教会は 1963 年、西代町に教会堂を移築し伝道と教育と奉仕を基本姿勢として地域に根付いた教会となりました。

河内長野教会へどうぞ！

日曜日の朝、教会には赤ちゃんから 100 歳をこえる方までいろいろな人たちが集まります。

たからかに讃美歌を歌い、祈り、聖書のお話を聞くために。

終わるころには、うれしい気持ちになり、今週も元気に過ごそうと、笑顔になっています。

神さまが私たちとともにいてくださることがわかるから。

教会は、そんなところ。

あなたもぜひ教会へおいでください。
おまちしています。



日本基督教団 河内長野教会

牧 師 森田恭一郎

〒586-0016 河内長野市西代町 10-19

☎ & Fax 0721-52-2323

H P <http://www.eonet.ne.jp/~akaiyane/>

E メール akaiyane@iris.eonet.ne.jp